

申此由、以秋田城介所領同國鶴見郷、可爲御本所之旨、泰貞等令一同之間、可有入御之由、中群議
治定之後、相副征義景於泰貞晴賢被申御所、

〔正末文書〕讓渡武藏國春原庄内万吉郷五郎經兼所

右彼所者、依爲先祖相傳所領、讓與五郎經兼所也、敢不可有他妨、但この所者、故女房に讓所に、死期
ち加ふなりて、万吉にをきては孝養所にすべき也、遺言にせらるるに、地頭川たの
ち、五段にをきては、故女房の墓所堂ニ永寄進する所なり、敢不可有他妨、宛給彼堂住僧爲孝養每
日可致勤者也、於彼田五畝者、付公私不可有一向公事者也、任此讓狀、不可有相違、仍讓狀如件、

張長三年三月二日

覺智 花押

〔集古文書二十下十六〕文永三年下知狀相模國鎌倉鶴岡八幡宮藏

鶴岡八幡宮領、武藏國稻目神奈河兩郷役夫工米事、如先下知狀者、云御燈云御供、當宮異他之間、被
免除彼役、以他計略、可被沙汰入其分云々、早任彼狀、可被下知之狀如件、

文永三年五月二日

花押

〔新編武藏風土記稿二百二十一〕小泉村

小泉村ハ、酒戸ヨリノ行程前村ニ同ジ、六里此地名ハ古キ唱ニテ、岩松氏所藏ノ文永三年七月ノ

交書ニ當國小泉郷ヲ岩松氏領セシヨシ見ユ、サレド郡名ヲノセズ、又矢野伊賀入道善久トイヒ

シ、凡モ建武ノ頃男衾郡小泉郷ヲ領セントイヒ、又上野國世良田長樂寺元徳ノ頃ノ文書ニモイ

ハ、略中 又隣郡男衾本田村慈念寺所藏、延文元年十二月三日ノ文書ニハ、畠山阿波守國清申請ニ

テ、本田郷及小泉郷ヲ同寺ヘ寄附シ、康安二年六月六日ノ文書ニモ、此地ヲ同寺ヘ寄附アリシコ

トヲ載セ、共ニ男衾郡小泉郷ト書リ、然レバ當村古ハ彼郡内ニ屬シテ、後郡界ノ變革アリシナル

ベシ、